

2021年4月27日

各 位
プレスリリース

株式会社農業総合研究所

JR 内房線江見駅に農産物集荷場を開設 千葉県産農産物の販路拡大と生産者の収入源増を狙う

「持続可能な農産業を実現し、生活者を豊かにする」をビジョンに掲げ、全国の都市部を中心としたスーパーマーケットで『農家の直売所』を運営する株式会社農業総合研究所（本社：和歌山県和歌山市、代表取締役社長：堀内寛、以下「農総研」）は、2020年10月14日に発表した東日本旅客鉄道株式会社（以下、「JR 東日本」）との資本業務提携の一環として、農産物集荷場「JRE 農業ステーション江見駅」を JR 内房線江見駅の敷地内に開設し、4月27日から運用を開始いたします。JR 東日本の鉄道インフラと農総研の農産物流通プラットフォームを活用することで、千葉県産農産物の販路拡大と生産者の収入源増を目指すとともに、新鮮で熟度の高い農産物を首都圏を中心とした消費者に最短1日でお届けします。

■本件のポイント

- ✓ 千葉県産の新鮮で熟度の高い農産物を首都圏のスーパーマーケットに最短でお届け
- ✓ 千葉県産農産物の販路拡大と生産者の収入源増を目指す
- ✓ JR 東日本の鉄道インフラを活用した全国で初となる農産物集荷場

■「JRE 農業ステーション江見駅」の概要

- ◆ 運営企業：東日本旅客鉄道株式会社、株式会社農業総合研究所
- ◆ 開設日：2021年4月27日（火）
- ◆ 場 所：千葉県鴨川市江見 95-2
- ◆ 集 荷 日：毎週月曜日、金曜日（初回は4/27、2回目以降の集荷はGW明けの5/10から）
- ◆ 集荷時間：9:00～13:00
- ◆ 集荷予定品目：大玉トマト、豆類、葉菜類など



■会社概要

株式会社 農業総合研究所 JPX 証券コード 3541

農総研は、「持続可能な農産業を実現し、生活者を豊かにする」をビジョンに掲げ、日本及び世界から農業が無くならない仕組みを構築することを目的とした産直流通のリーディングカンパニーです。全国約 9,500 名の生産者と都市部を中心とした約 1,700 店舗の小売店を IT でダイレクトに繋ぎ、情報・物流・決済のプラットフォームを構築することにより、これまでになかった新しい農産物流通システムを展開しています。

農総研は、2021 年 6 月に農業ベンチャー初の上場（東証マザーズ）から 5 年の節目を迎えます。上場 5 年で流通総額が約 2 倍、「農家の直売所」の店舗数が約 2.5 倍、登録生産者数が約 1.7 倍までに成長いたしました。産直流通のリーディングカンパニーとして、青果類流通の新しい社会インフラとして、次なる 5 年を見据えた積極的な事業展開と投資を実施してまいります。

以上